



HOUSE FOODS GROUP REPORT

株主のみなさまへ 第70期 営業のご報告 (第2四半期)

2015年4月1日～2015年9月30日



食でつなぐ、人と笑顔を。





株主のみなさまには日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年3月期第2四半期の事業の概況をご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

ハウス食品グループ本社 取締役社長

浦上 博史

海外事業が引き続き伸長し、その他食品関連事業の損益も改善しましたが、香辛・調味加工食品事業が減収減益となり、全体では減収増益となりました。

当第2四半期連結累計期間における経営環境は、海外景気動向に不透明さはあるものの、全体では緩やかな回復基調にある一方、食品業界におきましては、個人消費が足踏み状態のなか、原材料価格が引き続き高い水準にあり、予断を許さない状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは、当連結会計年度より開始した第五次中期計画において「食で健康」クオリティ企業への変革をテーマに、国内事業の収益力強化と新規需要の創出、海外事業の成長加速に向けた取組を進めております。

売上面につきましては、米国・中国を中心とした海外事業の好調が続く一方、香辛・調味加工食品事業において、本年2月に実施した製品価格改定の定着に想定以上の時間を要したことなどから、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,123億75百万円、前年同期比1.8%の減収となりました。

利益面につきましては、香辛・調味加工食品事業の減収影響を、海外事業や健康食品事業、その他食品関連事業における収益力改善の取組が補い、営業利益は40億44百万円、前年同期比1.6%の増益となりました。経常利益は47億91百万円、前年同期比3.4%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億51百万円、前年同期比5.7%の増益となりました。

以上のとおり、当第2四半期連結累計期間の業績は、期初に掲げた目標を下回る結果となりました。この状況を踏まえ、2015年10月30日開催の取締役会において、通期の連結業績予想の下方修正を決議し、売上高2,360億円（前期比2.0%増）、営業利益105億円（前期比20.9%増）、経常利益120億円（前期比9.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益80億円（前期比14.8%増）とさせていただきます。

中間配当金は、当初予定どおり1株15円といたしました。

当社グループは、株主のみなさまへの利益還元を経営上重要なテーマの一つとして位置付け、収益性の向上と財務体質の強化に努めるとともに、業績・事業計画などを総合的に勘案し、連結配当性向30%以上を基準とした安定的な配当を継続することを基本方針としております。

2016年3月期の中間配当金は、当初予定どおり、1株につき15円といたしました。また期末配当金につきましては、1株当たり15円とし、中間配当金の15円とあわせて、年間配当金は30円とさせていただきます予定であります。

株式会社壺番屋株式に対する公開買付けを実施しております。

第2四半期決算発表終了後の2015年11月2日より、持分法適用関連会社である(株)壺番屋様の連結子会社化を目的とした、株式公開買付けを開始いたしました。本件については、(株)壺番屋様の取締役会においても賛同の決議をいただいております。(株)壺番屋様とは、従来より原材料の供給や海外事業の協働などの面で連携してまいりましたが、外食とメーカーのカレーNo.1企業が手を組むことで、カレーの世界をさらに広げ、お客さまへさらなる「おいしさ」「感動」のご提供に努めてまいりたいと考えております。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、何卒宜しく願い申し上げます。

2015年12月

グループ理念

食を通じて人とつながり、
笑顔ある暮らしを共につくる
グッドパートナーをめざします。

時代によって食のカタチが変化しても、
変わらない食のチカラがあります。
食のチカラは、人を育み、人をつなぎ、人を笑顔にします。

私たちハウス食品グループは、
食を通じておいしさと健康をお届けし、
人とつながり、人と人をつなげたい。
絆やぬくもりを大切にして、
すべてのステークホルダーと共に
笑顔ある暮らしをつくりたい。

常に新しい価値を創造しながら。

家庭の食卓はもちろん、外での食事、さらに世界でも。
食に関わるすべてのシーンへ。

お客さまの笑顔を、
社員とその家族の笑顔を、
そして笑顔あふれる社会を
共につくるグッドパートナーをめざします。

創業理念

日本中の家庭が幸福であり、
そこにはいつも温かい
家庭の味ハウスがある。
～幸せな家庭のマーク～

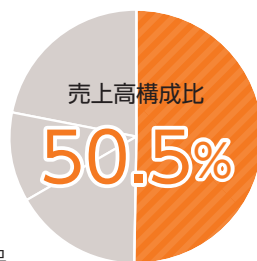
香辛・調味加工食品事業

売上高 **567** 億円(前年同期比96.4%) | 営業利益 **23.1** 億円(前年同期比92.4%)

当事業セグメントは、「食の外部化」などの事業を取り巻く環境変化に対し、「より健康、より上質、より簡便、より適量」にフォーカスした製品・サービスの提供を通じて、「既存領域の強化」および「新規領域の展開」に取り組んでおります。

本年2月に製品価格の改定を実施した製品群のうち、ルウカレー製品については、お客さまニーズに即したメニュー提案などの取組を進めた結果、徐々に新価格が定着しており、当第2四半期連結会計期間では前年を上回るなど回復傾向にあります。一方、適正販売に取り組むレトルトカレー製品、スナック製品は低調な推移となりました。

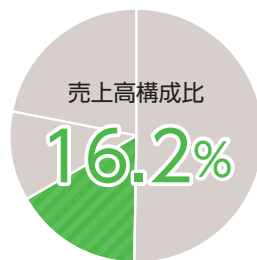
以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は567億46百万円、前年同期比3.6%の減収、営業利益は23億9百万円、前年同期比7.6%の減益となりました。



健康食品事業

売上高 **182** 億円(前年同期比88.8%) | 営業利益 **9.0** 億円(前年同期比110.5%)

当事業セグメントは、主力製品の収益力強化に取り組んでおりますが、販売受託製品の大幅減や一部製品の終売影響に加え、「ウコンの力」が前年同期実績を下回ったことから、売上高は181億91百万円、前年同期比11.2%の減収となりました。一方、営業利益はマーケティングコストをはじめとする経費の効率的運用への取組が一定の成果を上げ、9億4百万円、前年同期比10.5%の増益となりました。



海外事業

売上高 **129** 億円(前年同期比128.3%) | 営業利益 **7.3** 億円(前年同期比206.4%)

当事業セグメントは、重点3エリア（米国・中国・東南アジア）において、事業拡大のスピードアップと収益力の強化に取り組んでおります。

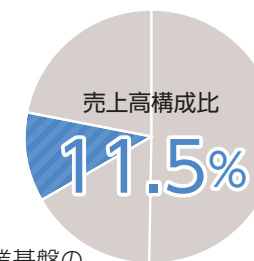
米国事業は、「HOUSE TOFU」ブランドが浸透するなか、オーガニック豆腐などの高付加価値製品が伸長し、増収増益となりました。

中国事業は、力強い成長が続いておりますが、中国全土での日本式カレーの定着に向けてマーケティングコストなどの積極的な先行投資を行っており、増収減益となりました。

アジアレストラン事業は、着実な店舗展開と店舗品質の向上に努めたことにより、増収増益となりました。

東南アジア事業は、引き続き事業基盤の構築に注力しております。なお、決算日の変更により、東南アジアのグループ会社は今期9カ月の変則決算となります。

以上の結果、海外事業の売上高は129億円、前年同期比28.3%の増収、営業利益は7億34百万円、前年同期比106.4%の増益となりました。



その他食品関連事業

売上高 **245** 億円(前年同期比98.0%) | 営業利益 **△0.6** 億円(前年同期比 -)

当事業セグメントは、グループの総合力強化のため、各機能の強化とグループ間シナジーの追求に努めております。

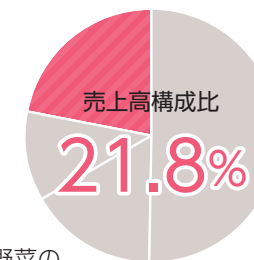
グループ物流機能を担うハウス物流サービス(株)は、事業構造の見直しと抜本的コストダウン活動の推進による収益構造の改善に努めた結果、前連結会計年度で発生した営業損失を解消し、当第2四半期連結会計期間においては黒字に転換しております。

食材の輸入・販売を営む(株)ヴォークス・トレーディングは、一部取扱い製品の入札時期が遅れた影響はありましたが、現

地会社と連携した香辛料・冷凍野菜の販売拡大などが寄与し、減収ながら増益を確保いたしました。

しかしながら、コンビニエンスストア向けの総菜等製造事業を営む(株)デリカシェフが、本年2月の総菜新工場立ちあげに課題をかかえたことから営業赤字となり、当事業セグメントの利益を押し下げております。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は245億11百万円、前年同期比2.0%の減収、営業損失は62百万円(前年同期は営業損失2億99百万円)となりました。



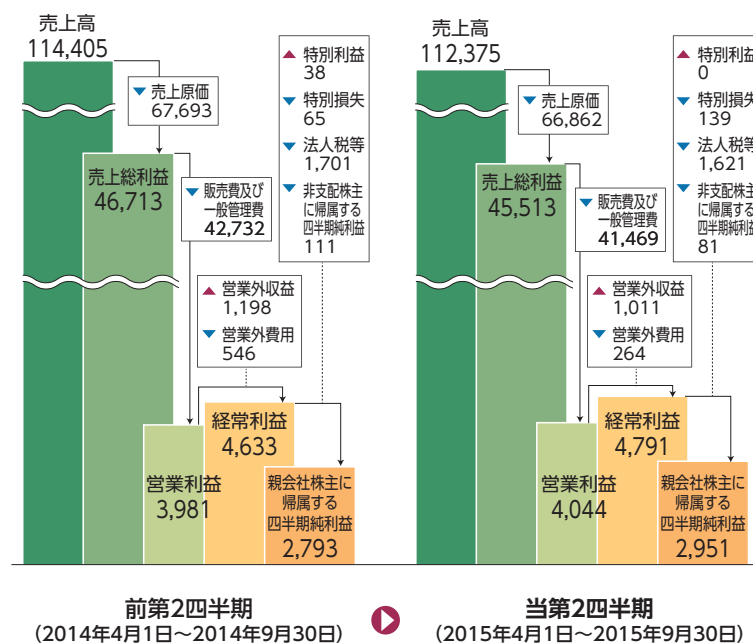
■ 主要連結経営指標

(単位：百万円)

	2014年3月期 〔通 期〕	2015年3月期 〔通 期〕	2016年3月期	
			第2四半期	通期 (予想)
売上高	232,610	231,448	112,375	236,000
営業利益	9,589	8,686	4,044	10,500
経常利益	10,962	10,957	4,791	12,000
親会社株主に帰属する当期純利益	8,792	6,971	2,951	8,000
1株当たり当期純利益 (単位：円)	83.13	67.61	28.71	77.86
総資産	273,368	286,149	282,428	-
純資産	210,097	221,456	221,214	-
1株当たり純資産 (単位：円)	1,974.31	2,140.27	2,137.27	-
1株当たり配当金 (単位：円)	35	30	15	30

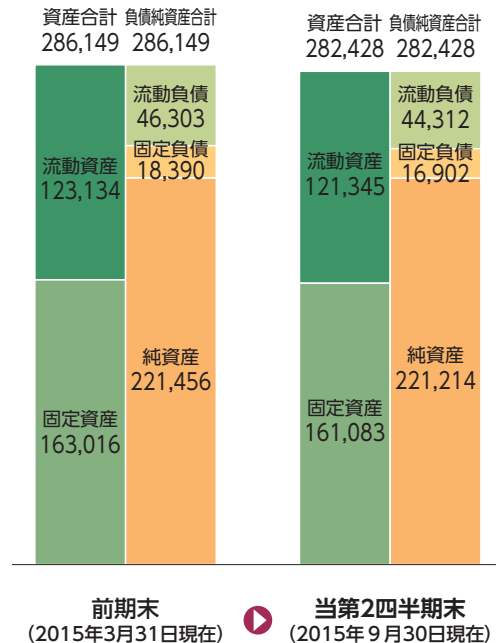
■ 連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



■ 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



海外事業
中国事業のご紹介

中国業務用カレーの生産ラインが大連で新たに稼働いたしました。

中国で展開しているカレー事業において、業務用カレーの新製品のラインが2015年8月より、大連で新たに稼働いたしました。中国国内の業務用カレー生産ラインとしては、上海市の上海ハウス食品社に続き、2カ所目となります。

これからも「カレーライスで中国人民食に!」を目標に、もっと多くのお客さまに、新たな食文化の普及を進めてまいります。



中国国内で「ウコンの力」の販売を開始いたしました。

2015年5月より、日本で好評いただいております「ウコンの力」(100ml飲料製品)の中国国内での販売を開始いたしました。

中国での関連法規制に合致させるために、中国国家食品薬品监督管理局による保健食品認可*を取得し、中国においてますます高まる健康管理の意識に対応します。

販売を行うハウス食品(中国)投資社では、ウェブ通販を中心に、まずは上海エリアのコンビニエンスストアやドラッグストアなどから販売をスタートし、今後積極的なマーケティング展開を行ってまいります。



*「肝機能損傷保護訴求」カテゴリーにおける保健食品認可を、日本製品で初めて取得しております。なお、中国における保健食品とは、『特定の保健機能を有する食品、あるいはビタミン、ミネラルを補充することを目的とする食品』を指します。

新製品・レシピのご紹介

塩分もカロリーも30%オフ!*

『ヘルシーオカレー』シリーズ



「ヘルシーオカレー」は調理型カレーでは初となる塩分とカロリーを30%オフにしたカレーです。スパイスの香りとフルーツ・野菜の甘みや旨みをバランスよく加え、減塩だからこそできるやわらかで味わい深い風味に仕上げました。家族の健康を考えた、ヘルシーでおいしいカレーをお楽しみいただけます。

*1皿当たり、当社パーモントカレー比

レ・シ・ピ RECIPE

調理時間 約15分

「ヘルシーオカレー」と一緒に食べて、1食当たり食塩相当量2.0g以下*
カリフラワーのポテサラ風 (ヘルシーオ副菜)

材料 (2人分)

カリフラワー 1/2株 (150g)
マヨネーズ 大さじ1・1/2
酢 小さじ1/4
ハウス コショウ 少々
GABAN ナツメグ<パウダー> ... 少々
ローメインレタス 適宜
イタリアンパセリ 適宜



作り方

- カリフラワーは小房に切り、耐熱の皿に広げ、ふんわりラップをして、電子レンジ600Wで約4~5分加熱する。
- ざるにとって水気を十分に切り、粗熱をとってボウルに入れる。
- ラップをかぶせ、マッシャーやこぶしなどでよくつぶす。Aを加えてよく混ぜる。
- 器に盛り、好みでちぎったローメインレタスとイタリアンパセリを添え、ナツメグをふる。

*「ヘルシーオカレー」シリーズの食塩相当量は、1皿当たり1.4gです。

レ・シ・ピ RECIPE

コロコロしたビーフシチュー

調理時間 約45分

材料 (5皿分)

北海道シチュー<ビーフ> 1/2箱
マッシュルーム (生) 5個
牛肉 (もも・赤身) 薄切り 300g
ブロッコリー 1/2株
玉ねぎ 中1個
サラダ油 大さじ1
ミニトマト 10個
水 700ml
うずら卵 (水煮) 5個

- 玉ねぎは薄切りにする。ブロッコリーは小房に分けてゆでておく。
- 牛肉を広げ、小麦粉 (分量外) をふり、ミニトマト、うずら卵、マッシュルームをそれぞれのせ、ボール状に丸める。
- フライパンにサラダ油大さじ1/2を熱し、②をころがしながら表面を焼く。
- 厚手の鍋にサラダ油大さじ1/2を熱し、玉ねぎを炒める。
- 水を加え、沸騰したらあくを取り、弱火~中火で約10分煮込む。③のミートボールを加え、さらに約5分煮込む。
- いったん火を止め、ルウを割り入れて溶かし、再び弱火でとろみがつくまで約10分煮込む。
- ①のブロッコリーを加えて、ひと煮立ちさせる。



『北海道シチュー』シリーズにビーフが登場! 『北海道シチュー<ビーフ>』

北海道産のビーフエキス・にんじん・玉ねぎを使用した濃厚なデミグラスソースと、北海道産生乳100%の生クリームのコク深いおいしさが味わえる「北海道シチュー<ビーフ>」を新発売いたしました。お子さまから大人の方まで、皆さんにおいしく食べていただける上質な味わいにこだわっています。



ハウス食品の レシピサイトはこちら

🔍 ハウス食品 レシピ 検索

レ・シ・ピ RECIPE

新製品・フレッシュアップのご紹介

新製品 『ウコンのカ レバープラス 粒タイプ』

フレッシュアップ 『ウコンのカ レバープラス』

前年から販売を始め、大好評いただいているウコンエキス入り飲料「ウコンのカ レバープラス」のフレッシュアップとともに、「ウコンのカ レバープラス 粒タイプ」を新発売いたしました。粒タイプは1袋 (3粒) 当たり、ウコンエキス150mg、肝臓エキス300mgを配合、秋ウコン由来の成分ビスクロン400μg、クルクミン40mgを含有しており、いつでもどこでも手軽で便利にご使用いただけます。

ドリンクタイプはフレッシュアップによりさらにスッキリとした後味に改良し、ビスクロン400μgを含有、ビタミンB6とナイアシンを増量、ビタミンB2を新たに配合しました。

「ウコンのカ レバープラス」シリーズが、ウコン飲料をよく飲む方の元気をサポートします。



〈粒タイプの特徴〉



『ウコンのカ レバープラス』の詳しい情報はこちら

🔍 ウコンのカレバープラス 検索



無果汁

新製品 『ウコンのカ パイン&ピーチ味』

ウコン特有の苦みや香りを抑え、スッキリおいしく飲むことができる「ウコンのカ パイン&ピーチ味」を新発売いたしました。

若い方でも手に取りやすいパッケージデザインを採用し、パインとピーチの風味で、元気な乾杯をサポートします。

🚚 ハウスダイレクトのご紹介

「ハウスダイレクト」とは、ハウス食品グループが自信を持ってお届けする通販限定の製品や、店頭で手に入れにくい製品等をお手軽にお求めいただける公式サイトです。

【ラクトプラン L-137】

乳酸菌加熱菌体“HK L-137”にビタミンB群 (4種類) とビタミンCを配合したサプリメントです。



【天然効果® 活性ウコン】

秋ウコンに含まれるクルクミンに、コショウの辛味成分ピペリンを配合しました。あの「ウコンの力」で人気のパワーを毎日手軽にお摂りいただけます。



ハウスの公式通販 「ハウスダイレクト」はこちら

🔍 ハウスダイレクト 検索

トピックス

「はじめてクッキング」教室が20年目を迎えました!

「はじめてクッキング」教室とは、「バーモントカレー」によるカレークッキングを通じて、自分で作って食べることを体験し、食への興味をもっと広げてほしいという願いからスタートした、ハウス食品グループの食育活動の一つです。1996年から始まったこの活動は、今年2015年に20年目を迎え、これまでに、のべ600万人以上の子供たちに参加していただきました。これからも、この活動を通じて、子供たちの健やかな心と体の成長を応援してまいります。



株主さま工場見学会を開催いたします。



ハウス食品グループの企業理念や事業内容について、一層のご理解を深めていただくために、**2015年9月30日現在、当社株式を100株以上ご所有の株主さまを対象に、株主さま向けの工場見学会を開催いたします。**詳細につきましては、対象の株主さまに「株主さま工場見学会開催のご案内」を同封しております。

- ・開催日時：2016年3月23日（水）10:30~15:00
- ・開催場所：ハウス食品(株) 静岡工場

株式会社壱番屋株式に対する公開買付けに関するお知らせ

当社は、2015年10月30日開催の取締役会において、株式会社壱番屋の普通株式を金融商品取引法に基づく公開買付けにより取得することを決議いたしました。同日、株式会社壱番屋も取締役会を開催し、本公開買付けに賛同の決議をいただいております。

買付者：ハウス食品グループ本社株式会社

対象者：株式会社壱番屋

買付予定数：5,021,100株（所有割合：31.45%）

※現行の所有株式数を含めた買付後の所有割合：51.00%

※上記は、2015年10月30日時点での買付予定数であり、最終の買付結果（2015年12月2日確定予定）は、確定後、直ちに当社ホームページに公開いたします。 <http://housefoods-group.com>

買付期間：2015年11月2日~12月1日（20営業日）

買付価格：1株につき6,000円

コーポレートデータ Corporate Data

●会社概要（2015年9月30日現在）

創業年月日 1913年11月11日

設立年月日 1947年6月7日

資本金 9,948,323,523円

事業内容 グループ戦略立案、事業会社(国内・海外)への経営サポートならびに国際事業統括

従業員数 249名(連結：5,410名)

所在地 ●大阪本社
〒577-8520
大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
TEL 06-6788-1231(大代表)

●東京本社
〒102-8560
東京都千代田区紀尾井町6番3号
TEL 03-3264-1231(大代表)

●役員（2015年9月30日現在）

代表取締役社長 浦上 博史

代表取締役専務 松本 恵司

専務取締役 広浦 康勝

常務取締役 井上 始

(ハウスウェルネスフーズ株式会社 代表取締役社長兼務)

常務取締役 工東 正彦

(ハウス食品株式会社 代表取締役社長兼務)

取締役 藤井 豊明

取締役 田口 昌男

取締役 小池 章

取締役(社外) 山本 邦克

監査役 加藤 智一

監査役 塩田 昇司

監査役(社外) 仁瓶 眞平

監査役(社外) 進藤 大二

監査役(社外) 蒲野 宏之

株主優待制度

6月・12月の年2回、半年以上継続して単元株（100株）以上の株式を保有の株主さまを対象に、当社グループの製品詰合せを「株主優待」として贈呈しております。

100株以上1,000株未満



1,000円
相当の
詰合せ

1,000株以上



3,000円
相当の
詰合せ

※写真は、2015年12月上旬に贈呈した株主優待製品です。



LINEハウス食品グループ公式アカウントのご案内

新製品・CM・レシピ情報をはじめ、LINE限定キャンペーンなどおもしろい情報をお届けします。ぜひお友だちになってください。





株式情報

Stock Information

●株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行済株式総数	102,758,690株
発行可能株式総数	391,500,000株
株主総数	68,231名
1単元の株式数	100株

2016年3月期配当金

	1株当たり配当金
第2四半期末	15円 (前期比±0円)
期末(予想)	15円 (前期比±0円)
年間(予想)	30円 (前期比±0円)

●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
中間配当制度	あり
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
郵便物送付先およびお問合せ先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ http://housefoods-group.com に掲載して行います。 ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京
証券コード	2810

株式に関するお手続きのお問合せ先

お手続き内容	口座の種類	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式*
住所変更、単元未満株式買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更などの各種手続		口座を開設されている証券会社	
郵送物の発送と返戻に関するご照会		三井住友信託銀行 証券代行部 ☎0120-782-031	三井住友信託銀行 証券代行部 ☎0120-782-031
支払期間経過後の配当金に関するご照会			
株式事務に関する一般的なお問合せ			

* 株券電子化実施 (2009年1月5日) に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構 (ほふり) に株券を預託されなかった株主さまのお名前、ご住所などのデータは、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」に記録されております。

株式に関するその他のお問合せ先

ハウス食品グループ本社株式会社 総務部 電話06-6788-1214
受付時間 平日9時~17時30分 (夏期休暇・年末年始休暇および創業記念日(11月11日)を除く)

ハウス食品グループ本社株式会社

〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
<http://housefoods-group.com>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用しています。

